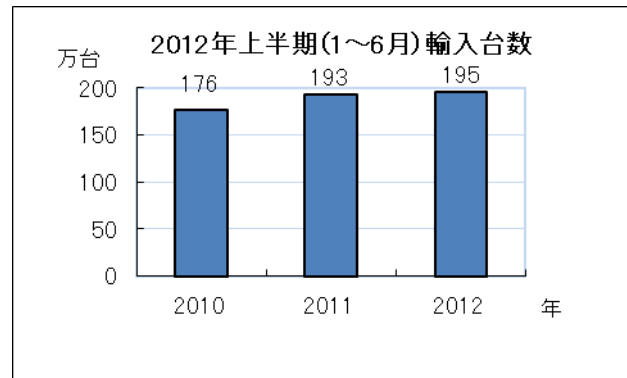
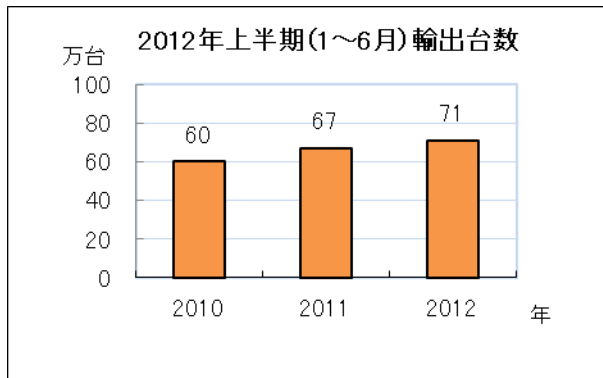
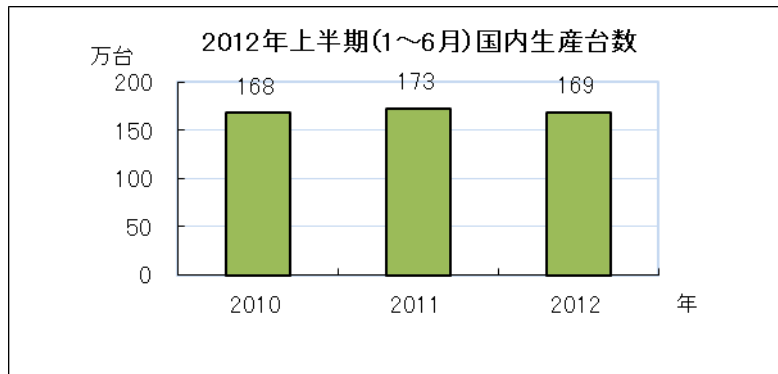


2012年上半期ドイツ自転車市況

2012年上半期(1~6月)ドイツ自転車市場について、ドイツ二輪産業協会(ZIV)では、需要が高まる春の天候がすぐれず本年上半期は販売不振となったが、現在、ドイツでブームに沸く電動アシスト自転車(EPAC)は堅調であったとしている。

2012年上半期ドイツ国内の自転車生産台数は前年比2.3%減の169万台と再び減少に転じた。しかしながら、自転車輸出台数は同比6%増の71万台と前年同期より続伸しており、更に自転車輸入台数は195万台と、わずか同比1%ではあるが増加している。

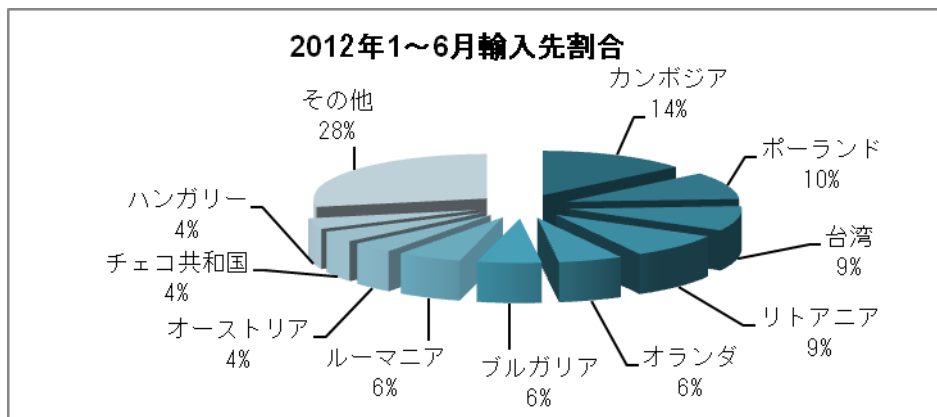
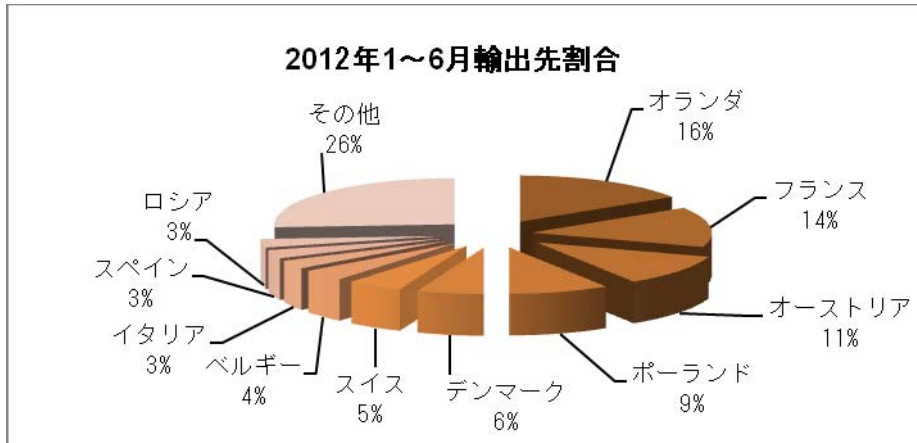


国別輸出先では、前年同様、オランダが16%で最多輸出先であるが前年より2ポイント減少した。次いでフランス、第3位となったのは前年より3ポイント減となったオーストリア、続いて同じく1ポイント増のポーランド、更に前年同様のシェアを占めたデンマークとスイス等、上位の顔ぶれに大きな変化はない中で、今回はロシアが新たに上位に加わったが、輸出先の殆どは欧州地域が占めている。

国別輸入先について、アジア地域では、しばらく最多輸入先の地位にあった台湾が前年より2ポイントシェアを減らし3位に順位を下げた。昨年急伸を見せたタイ、インドネシアは上位から姿を消した一方で、昨年一旦姿を消したカンボジアが再浮上し、一気にシェア14%

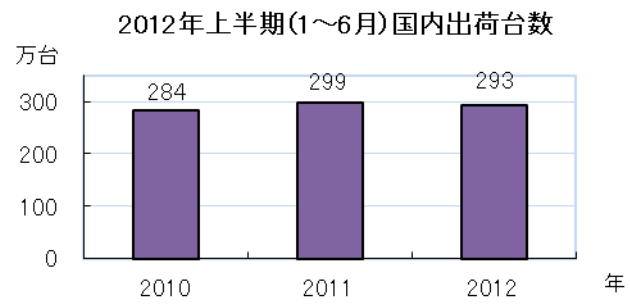
で最多輸入先となる等、依然としてアジア地域の輸入先の変化はめまぐるしい。

欧州地域の輸入先では、ポーランドが最多輸入先に変わりなく、全体の輸入先の中でも 2 位に位置している。次いで続伸するリトアニア、昨年上位入りしたブルガリア、復調傾向にあるハンガリー、ルーマニア及びチェコ共和国等、東欧諸国が多く見られる。西欧地域では、オランダは前年よりシェアを 3 ポイント減らしたものの全体の 5 位、欧州地域の輸入先の 3 位に入っている一方で、昨年まで上位に姿を見せていなかったオーストリアが上位に現れる等、欧州地域における輸入先も変化が続いている。



2012年上半期(1～6月)の国内出荷台数は、前年比2.0%減の293万台となった。ZIVでは春の天候不順により上半期1～6月の自転車販売は伸び悩んだが、7月以降は夏らしい好天にも恵まれ、下半期は復調すると見ている。しかし、2012年通年での見通しは楽観視できず、2012年の年間販売台数は前年比3～5%減の落ち込みとなると予想している。

その一方で、2012年のEPAC販売台数は、ドイツで40万台、欧州全体では110万台になるとの強気の見込みもあり、独自自転車市場のEPAC販売については、本年下半期も堅調に推移すると期待しており、また、ドイツの車種別販売比率における電動アシスト自転車のシェアは2011年には8%であるが、近いうちに15%に達するとの予想も立てている。



以 上

統計出所： ドイツ二輪産業協会 (ZIV)